**第４２回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和２年１月２０日（月）１７時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁舎　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部会長）　神谷博達（副部会長）川村正勝（部会員）　安宅錦也、合田美津子、磯田大治、佐藤文子、　　　　　　仲川弘誓（その他）　真境名達哉（室蘭工業大学准教授）（庁内委員）近藤正嗣（事務局）　大越智輝、安倍一葉 |
| 欠席者 | （庁内委員）重山大介 |
| 議題 | 学校の図書館活動の参観について部会の今後の予定について |
| 配布資料 | 第４１回議事録第４２回育み部会　参考資料（部会長作成）令和元年度学校図書館参観記録令和元年度のびのび公園調査結果（児童）令和元年度のびのび公園調査結果（地域住民） |

１　会議の要点

　　令和元年１１月１９日から１２月２３日にかけて行った市内小・中学校の図書館参観の記録を共有し、のびのび公園の利活用については周辺小学校及び地域住民への調査結果の考察と、それを踏まえて今後の取り組みについて協議した。

（１）学校図書館活動の参観結果について

○報告・考察

・部会長作成の参観記録を次回までに各自確認し、加筆修正事項と、今後の取り組みについて検討する。

（２）のびのび公園の利活用に関わる取り組み

○児童に対する調査結果

・今年度は実施期間を拡大したが、のびのび公園を利用をした児童は少ない。

・富岸小は利用率が約１０％にとどまったが、公園が遠いことが理由として多く挙げられた。

・若草小は昨年度より約２０％利用率が上がり、のびのび公園は遊んでもよい場所で、かつボール遊びができる公園であることが児童に認識されてきたことがわかる。

・ボール遊びに限らず公園でどう遊んだらよいかわからない子が多いのではないか。

　○地域住民に対する調査結果

　・のびのび公園をより利用しやすい公園にするには何が必要かを問う設問で、　　「フェンスの設置」と回答した人が減ったことから、昨年はボールが道路に飛び出したり、車に当たることを懸念していた人が多かったが、現在は取り組みを理解して見守ってくださっている方が多いと考えられる。

　○来年度以降の取り組みについて

　・来年度もボール遊びを可能にして取り組みを継続する。

　・ボール遊びをする子どもを増やすのではなく、あくまでせっかく広い面積のある公園だからもっと多くの人に使ってもらおうというもの。

　・来年度は今年度より環境を良くしていくことはできないか検討する。

　　　草刈りは例年５月とグリーン・ピア・サマーフェスティバル前の２回ほどしか行われていないので、膝丈くらいまで草が生えてしまっており、これではいくら期間を長くしても利用者は増えない（事務局で確認の結果、草刈りは例年３回実施しており、９月から１０月にかけても１回実施している）。

　　　コートの整地についても、児童・地域住民ともに必要であると回答した人が多いため、企業に地域貢献活動やボランティアとして協力を得ることができないか検討する。また、公園内をローラーすることによって地下に破損するものがないかも併せて確認する。

　○その他

　・調査結果は、御礼の文書を添えて調査に協力いただいた学校と地域住民へ送付する。

２　次回について

　日時：令和２年２月１７日（月）１７：３０～

　協議内容：学校図書館活動の活性化に関わる今後の取り組みについて